

漁海況情報第5報 (2024年10月17日発行)

宮城県水産技術総合センター 連絡先：0225-24-0139
※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。



※今月は、沿岸の海洋観測が欠測となったため、概要と定置水温のみ報告させていただきます。

1. 海況

宮城県沿岸は黒潮続流から波及する暖水に覆われています。

黒潮続流は現在、宮城県東沖約100kmを北上しその北端は岩手県沖に達していると思われます。宮城県沿岸へは続流縁辺からの暖水波及により平年より高めとなっています。

一方、親潮系の冷水については、八戸沖の暖水塊の南東側へ回り込んで、青森県から岩手県沖に冷水域を形成しています。しかし、宮城県沖へは、津軽暖流が黒潮続流へ合流し冷水の南下を阻んでいるため、水深200m以浅では見られていません。

宮城県沿岸の**表面水温**は、気温の低下が見られたことから先月よりも概ね3～4℃程度の低下が見られ、22～23℃になっていると思われます。

100m深水温は、14～16℃の範囲にあり全体的に暖水の影響を受け前月よりも高くなっていると思われます。

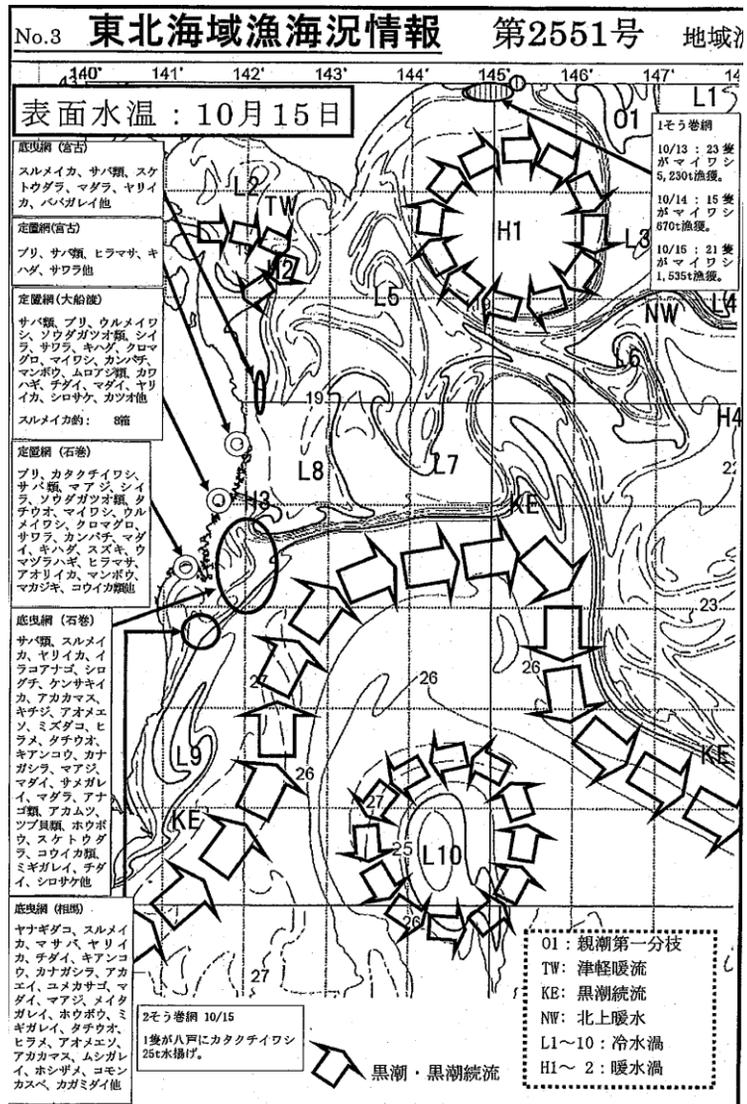
定置水温は気温の低下とともに低下し始めましたが、気温と同様に緩やかに低下しているため、平年値よりかなり高めに推移しています（詳細は次頁参照）。

2. 漁況

カツオの水揚が続いています。

10月に入っても引き続きカツオの水揚が続いています。

気仙沼では既に昨年の水揚量を上回っており、28年連続の生鮮カツオ水揚量日本一は、確定的な状況です。



定置観測水温の状況

定置観測水温は全観測点とも徐々に低下していますが、気温が平年より高めで推移していることもあり、低下する速度は遅くなっています。今後の動向も気温の影響を大きく受けるものと思われます。

	10月上旬		平年差	前年差
	水温	状況		
気仙沼 (杉ノ下)	22.3	極めて高め	2.4	0.0
歌津	—	—	—	—
江島	22.1	高め	2.1	-0.2
田代島	22.7	高め	2.1	0.1
佐須浜	21.3	やや高め	2.0	0.8
桂島	22.1	やや高め	1.3	1.0
亘理	22.5	やや高め	1.6	0.4



みやぎ水産NAVI

下記のグラフや日々の水温を見ることができます。

※—：メンテナンス中

